

「国有林材の安定供給システム販売(素材)」の結果公表

平成2年7月14日に公告しました「国有林材の安定供給システム販売(素材)」について、「申請書」及び「企画提案書」等を審査した結果、下記のとおり決定しましたので公表します。

記

1 システム販売の目的

一定の要件を満たす工場等と近畿中国森林管理局長が国有林材の販売に関する相互協定を締結し、その協定に基づき計画的な販売を実施することにより、国有林材の需要、販路の確保・拡大を図り、併せて地域における中核的な素材流通・製材の担い手の育成、流域管理システムの推進等に資することを目的とし、山元において販売するものです。

また、民有林材と国有林材をあわせた国産材の自給率アップに向けて、原木市場でB材・C材といわれる一般材及び低質材の利用・販路の確保等への取組を支援しています。

2 応募状況及び審査内容

(1) 応募状況

番号	関係森林管理署等	公募内容		応募件数	備考
		樹種	数量(m)		
48	三重	スギ・ヒノキ	285	1	
49	島根	公募取り止め			
50	岡山	スギ	230	1	
51	広島北部	スギ・ヒノキ	600	1	
52	三重	原料材N	195	2	
53	和歌山	原料材N	960	1	
54	島根	公募取り止め			
55	島根	公募取り止め			
56	岡山	原料材N	1,010	2	
57	広島北部	原料材N	380	1	
58	広島	原料材N	690	1	

(2) 審査内容

企画提案書等の内容が、①システム販売の対象となる需要者の要件を満たしているか(必須項目)、②企画提案する10項目の取組内容(取組評価点)及び山元購入希望単価(価格点)等について、審査しました。

3 審査結果

番号	協定締結者	企画提案の概要	
		企画提案する取組	山元購入希望価格 スギ・ヒノキ(円/m) 原料材N・L(円/t)
48	奈良県桜井市大字戒重137番地 西垣林業株式会社 代表取締役 西垣 雅史	<ul style="list-style-type: none"> ・素材生産と共に不安定な原木輸送といった分野に対し、年間を通しての仕事を提供、また原木と製品とで往復便が可能となり、広域での効率的な輸送が可能となる。これにより運送コスト削減と運送事業創出を両立させ国産材に安定した供給力を持たせることを可能とする。 ・国産材全体で合法性、地域性を重視した製品の開発・普及に取り組み国産材の付加価値を創出し需要を拡大していく。 ・大型工場へ国有林を安定的に供給することにより、国産材製品の安定生産に繋げ、外材製品に対する競争力を高める。原木、製品共に外材と比較したときの国産材の供給力の不安定さをシステム販売を通じて改善し、木材需要の国産材比率を高めることを進める。また、国有林材を公共に使用する製品に積極的に活用することで国有林と合わせ民有林普及、山元還元の仕事みづくりを押し進めて行く。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 4,805円</p> <p>ヒノキ 6,700円</p>

50	島根県松江市西津田一丁目2番14号 山陰丸和林業株式会社 代表取締役 北岡 幸一	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の利用と保全に力を注ぎ、事業を幅広く展開していくための人材育成及び林業従事者の技術継承。工場の更新及び加工機械(チップパー等)、重機等の入替え。 ・システム販売材と民有林材を多く購入することで保管期間を長く乾燥させる。また、輸送過程で水分を含ませないようにシートで覆い、水分の低減に努め、製品の付加価値の向上を更に目指し多少でも買取価格の上昇に繋がるよう努力する。 ・京都府・福井・兵庫・鳥取・岡山・島根県に加工工場及び集積工場があることを活かし、現場からの最短集積地に集荷することで流通コストを削減する。製品においても、広範囲に製品販売を行っていることと、自社車両を多く所有していることで流工程の無駄を省く。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 5,000円</p>
51	締結者なし		
52	三重県亀山市関町新所894番地 関チップ工業株式会社 代表取締役 大萱 宗靖	<ul style="list-style-type: none"> ・今後森林管理制度が施行され地域で責任をもって森林を整備していかななくてはならない。それによって搬出されるチップ材をおもに三重県北勢地区、中勢地区の北部で集荷し、地域に必要とされるチップ工場を目指している。この地域は林道や土場も狭いため機動力のある8t車の木材の集荷にも力を入れていきたい。そのために車両の新規購入や地域の森林所有者が自ら山に入り整備し搬出するための手助けを考えている。 ・クレーン付き8tトラックのため搬入道路も狭くて済むことや、積込み場所も数か所に集材しておけるため搬出作業の距離が短くなり手間が省ける。これらは今後作業道やストックヤードを作っていく上でコストの削減に繋がる。三重県北勢地区、中勢地区から搬出される材ならば弊社チップ工場までの距離も近く、運賃のコストも押さえることが出来三重県内のバイオマス発電所に価格を抑えて供給できるため長期的に需要が見込める。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 4,550円</p> <p>原料材L 4,550円</p>
53	和歌山県田辺市新庄町2070番地の3 株式会社 井裕林産 代表取締役 井裕 啓次	<ul style="list-style-type: none"> ・山からの出材を安全かつ効率的にする為に、油圧式集材機やロージング・グラブの開発に力を入れ、出材量の増加に繋げる。また、未利用材を近隣のバイオマス発電所に納入する燃料用チップに加工して有効利用し、安定的に供給する。 ・チップ工場の安定的な原料確保が可能になり、生産量が増加し、それに伴いコストが縮減される。運送事業者の仕事量が増え、ドライバーの給料増加、燃料の消費量増大等で地域経済の活性化を計れる。 ・紙の需要が減る中で、未利用材の有効利用を拡大すべく、地元でできたバイオマス発電所への燃料需要に対応できる体制を整え、安定的に供給する。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 2,500円</p> <p>原料材L 2,500円</p>
56	島根県松江市西津田一丁目2番14号 山陰丸和林業株式会社 代表取締役 北岡 幸一	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の利用と保全に力を注ぎ、事業を幅広く展開していくための人材育成及び林業従事者の技術継承。工場の更新及び加工機械(チップパー等)、重機等の入替え。 ・システム販売材と民有林材を多く購入することで保管期間を長く乾燥させる。また、輸送過程で水分を含ませないようにシートで覆い、水分の低減に努め、製品の付加価値の向上を更に目指し多少でも買取価格の上昇に繋がるよう努力する。 ・京都府・福井・兵庫・鳥取・岡山・島根県に加工工場及び集積工場があることを活かし、現場からの最短集積地に集荷することで流通コストを削減する。製品においても、広範囲に製品販売を行っていることと、自社車両を多く所有していることで流工程の無駄を省く。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 4,500円</p> <p>原料材L 4,500円</p>
57	広島県広島市中区鉄砲町4番1号 広島県森林組合連合会 代表理事会長 小林 秀矩	<ul style="list-style-type: none"> ・販売事業を経営の柱としていることから、当会の3箇所の木材集荷量を昨年度86,000m³から5年後には100,000m³を目標としており、流通の面から国産材の利用拡大、比率を高めることを方針としており、設備投資については、共販所で使用するローダー、フォークリフト等買い換えを踏まえながら投資していく予定としている。 ・広島県内の大型製材工場と協定による販売を現在行っているが、近隣の県にも大型の製材、合板工場があるため、今年度下半期から木材の供給を開始するよう取組んでいる。また、コスト削減に向けて選木・仕分について、適正な人員、機械の配置で行い、また、集荷仕分の拠点の1つに自動選別機が2レーン整備されており、これを最大限活用することにより仕分コストの低減を図ることとしている。 ・大型製材工場、中・小製材工場に必要とされている規格、形状のものを供給し国産材の利用拡大に繋げる。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 3,000円</p> <p>原料材L 3,300円</p>
58	広島県安芸高田市向原町坂字谷本4255番地 有限会社 殿林 代表取締役社長 森永 賢悟	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のウッドワン発電所をはじめ、広島西風バイオマス発電所、来年稼働予定の海田バイオマス発電所等、広島圏近郊のバイオマス発電所及び、県北地域に今後稼働予定の発電所に森林未利用材由来のチップ燃料を安定的に供給するために積極的に森林資源の買付、回収を進めていきたい。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 3,000円</p> <p>原料材L 4,000円</p>